

# 「いのち」の教育実践事例

## ☆鶴岡市立羽黒中学校の実践

系統性

継続性

### 一体験活動の充実を通して、「かかわり」と「つながり」に思いを深める取組み一

ボランティア活動や体験活動を系統的・組織的に計画し、豊かな感性と社会力を育て、自他のいのちと存在の大切にしようという実感を育む取組みです。

#### ○ 福祉学習の取組み

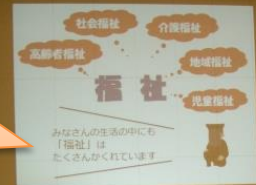
- ・1年生では、地元の社会福祉法人恵風園への訪問や羽黒福祉センターと連携し福祉体験活動を行い、生徒自らが支え合い、思いやる気持ちを実感できる取組みを行っている。

#### ○ 沖縄体験学習の取組み

- ・2年生では、沖縄修学旅行に向けた学習を通して、自らの生き方・在り方を考える学習を展開している。総合的な学習では「命(ぬち)どう宝」をテーマに、沖縄戦について個人テーマに基づいて調べ学習を行い、その後、生徒達の手で劇を作り、小学生や保護者に上演した。  
【テーマ「命(ぬち)どう宝」沖縄弁「命が一番」の意】

命とはなんだろう 家族とは何だろう  
 幸せはただ降ってくるんじゃない  
 自分たちで「幸せは何か」知ることだ  
 14歳の私たちに何が出来るのか考えて  
 沖縄に行く  
 (平成28年度羽黒中2年生「平和宣言」より)

「福祉」って何？  
 生活の中にある福祉を教えてくださいました。



車いす体験教室 相手の気持ちを察知する事を学びました。



ガマの中(劇の一場面)  
 生徒たちは必死に生きようとする



## ☆酒田市立松原小学校の実践

連携

協働

### 一防災学習を通してつながる、「共に生きる」大事な仲間一

学校全体で計画的・組織的に防災教育を実施し、さまざまな災害への対応を学ぶ過程を通して、自ら判断し行動する力を身に付け、共に生きる気持ちを育む実践です。

#### ○ 防災タイムの実施

- ・毎月第一金曜日の朝活動を「防災タイム」と位置付け、時期に応じた指導を行う。継続的に指導を行うことにより、災害を身近に感じ、防災の意識を高めることができた。

学習を通して思うのは自分の注意力の甘さです。普段、何気なく思っていることが自分の命を奪うことを忘れないようにしたいです。(5年男子)

#### ○ 発達段階に応じた指導

- ・防災タイムとともに、発達段階に応じて防災カルタや災害時のスキルトレーニングを実施。予告なしの訓練時に他と協調した行動をとる様子が見られた。
- ・学校内外の災害に関する情報を教材化し、学校全体で授業を実施した。

防災タイム  
 「このしるし知ってるよ！」



親子研修で防災体験(3年生)



全校防災授業の実施  
 「この時君ならどうしますか？」

